

※詳細については、決算書を市立図書館に備えてありますのでご覧ください

## 水道事業会計決算報告

図上下水道課（市役所2階） ☎88-8109

業務状況(表①参照)

令和7年度は、給水人口が304人減少（前年度比1.51%減）し、給水戸数が20戸増加（前年度比0.26%増）しました。年間有収水量は、家事用、営業用や工業用の使用水量が増加したため、前年度を上回る結果となりました。また、有収率は前年度比0.01ポイントの増加となりました。

財政状況(表②参照)

令和7年度の総事業収益は4億8,778万9千円、総事業費用は4億8,325万8千円となり、当年度純利益453万1千円を計上する結果となりました。

一方、資本的収入は2億6,530万1千円、資本的支出は4億5,436万1千円となり、この1億8,906万円の不足額は、損益勘定留保資金及び減債積立金取崩額で補填しました。

総括事項

営業収益については、前年度比2.53%の増となりました。主たる収入である給水収益については、家事用、営業用や工業用の使用水量が増加したため、前年度比2.55%の増収となりました。

営業費用においては、電気料金の増加、水道料金システム標準化対応に伴う委託料の増加などにより前年度比1.06%の増となっています。

令和7年度は、燃料費や資材費、労務単価の上昇により費用が増加し、老朽管の修繕などが頻発する中で、経費節減に努め経営健全化を図り、経常収支の黒字化を図ることができました。

昭和34年の事業創設以来、約60年が経過しており、管路や設備については老朽化が進んだことから更新の必要に迫られています。さらに、地震などの災害に備えるべく施設や管路の強靱化が求められていることから、老朽管路などの更新に合わせた耐震化を進めていくには多額の資金が必要になります。給水収益が減少傾向にあるなか、中長期的な展望を持って経営に臨むため、令和6年度に勝山市水道事業経営戦略を改定し、国の交付金のほか、保有している資金を計画的に活用するとともに、料金改定も含め、財源を確保し財政的基盤の強化の方向性を定めています。

今後も、市民生活に不可欠となる清浄で安全な水道水を安定供給していくため、既存水道施設の維持管理に努め、社会的情勢の変化などを注視し、更なる経営の効率化を図ってまいります。

表① 業務状況

| 項 目           | 業 務 量                | 前年度増減比             |
|---------------|----------------------|--------------------|
| 給 水 人 口       | 19,785人              | -1.51%             |
| 給 水 戸 数       | 7,651戸               | 0.26%              |
| 年 間 総 配 水 量   | 2,724,145㎡           | 2.17%              |
| 年 間 有 収 水 量   | 2,220,325㎡           | 2.17%              |
| 1日最大配水量       | 14,829㎡<br>令和8年2月11日 | 7.85%              |
| 有 収 率         | 81.51%               | 0.01%<br>比率ではなく上昇数 |
| 導 送 配 水 管 延 長 | 347,689.9m           | 0.04%              |

表② 財政状況

【収益的収支(税抜)】

| 区 分 | R7年度決算額     | R6年度決算額     |
|-----|-------------|-------------|
| 収 入 | 4億8,778万9千円 | 4億7,275万2千円 |
| 支 出 | 4億8,325万8千円 | 4億7,321万2千円 |
| 差 引 | 453万1千円     | -46万円       |

【資本的収支(税込)】

| 区 分 | R7年度決算額     | R6年度決算額      |
|-----|-------------|--------------|
| 収 入 | 2億6,530万1千円 | 1億638万円      |
| 支 出 | 4億5,436万1千円 | 3億18万2千円     |
| 差 引 | -1億8,906万円  | -1億9,380万2千円 |

表③ 主な改良事業

※はR6繰越事業

| 事 業 名 (工 事 名)           | 地 係             | 事 業 費 (工 事 費) |
|-------------------------|-----------------|---------------|
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第1工区 ※  | 元町1丁目           | 520万3千円       |
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第2工区 ※  | 元町1丁目           | 2,174万7千円     |
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第3工区 ※  | 昭 和 町<br>1丁目ほか  | 2,057万円       |
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第4工区 ※  | 旭 町<br>1丁目ほか    | 1,765万5千円     |
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第5工区 ※  | 旭町1丁目           | 2,222万9千円     |
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第6工区 ※  | 昭 和 町<br>1 丁 目  | 1,991万円       |
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第7工区 ※  | 昭 和 町<br>1 丁 目  | 2,125万2千円     |
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第8工区 ※  | 昭 和 町<br>1 丁 目  | 1,986万4千円     |
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第1工区    | 長 山 町<br>2 丁 目  | 1,119万8千円     |
| 重要給水施設 配水管布設替工事 第2工区    | 長 山 町<br>2 丁 目  | 1,563万7千円     |
| 法恩寺浄水場 膜ろ過設備シーケンサほか更新工事 | 勝 山 市<br>170字奥山 | 1,304万6千円     |

## 下水道事業会計決算報告

業務状況(表①参照)

(公共下水) 令和7年度は、水洗化人口が192人減少し（前年度比1.15%減）、水洗化戸数は26戸増加(0.40%増)しました。

年間有収水量は2,130,932m<sup>3</sup>となり、人口減少による影響を受けつつも、営業用の増により増加しました。また、有収率は前年度比2.31%の増加となりました。

(農業集落排水) 令和7年度は、水洗化人口が36人減少し（前年度比1.78%減）、水洗化戸数が2戸増加(0.30%増)しました。

年間有収水量は218,454m<sup>3</sup>となり、0.09%増加しています。また、有収率も同様に4.72%増加しています。

財政状況(表②参照)

令和7年度の総事業収益は10億6,189万3千円、総事業費用は10億1,225万2千円となり、当年度純利益4,964万1千円を計上する結果となりました。

一方、資本的収入は7億3,718万2千円、資本的支出は8億8,008万2千円となり、この1億4,290万円の不足額は、損益勘定留保資金及び減債積立金、当年度利益剰余金処分額で補填しました。

総括事項

営業用の使用水量が増加したため使用料収入は増加し、燃料費や資材費、労務単価の上昇による費用の増加や老朽施設の更新などがある中、一般会計からの補助金を繰入れながら黒字決算となりました。

しかしながら、公共下水道では昭和52年の事業創設以来、約50年が経過しており、ストックマネジメント計画などにに基づき、計画的に施設の改築更新を進める必要があります。

農業集落排水では下水道事業運営の効率化のため公共下水道との接続や、機能強化工事を行う必要があります。また、地震などの災害に備えるべく施設や管路の強靱化が求められていることから、勝山市下水道事業経営戦略や耐震化計画に基づき、国の交付金などを活用しながら老朽管路などの更新に併せ耐震化を進めていきます。

管路などの更新などには多額の資金が必要になると予想されることから、国の交付金のほか、使用料改定も含め、財源を確保し財政的基盤を強化する必要があります。

表① 業務状況

| 項 目           | 公共下水道                | 農業集落排水            |
|---------------|----------------------|-------------------|
| 水 洗 化 人 口     | 16,502人              | 1,990人            |
| 水 洗 化 戸 数     | 6,608戸               | 679戸              |
| 年 間 総 処 理 水 量 | 2,863,984㎡           | 227,870㎡          |
| 年 間 有 収 水 量   | 2,130,932㎡           | 218,454㎡          |
| 1日最大処理水量      | 11,667㎡<br>令和7年6月15日 | 677㎡<br>令和7年6月15日 |
| 有 収 率         | 74.40%               | 95.87%            |
| 管 渠 延 長       | 358,661.0m           | 47,408.0m         |

表② 財政状況

【収益的収支(税抜)】

| 区 分 | R7年度決算額      |
|-----|--------------|
| 収 入 | 10億6,189万3千円 |
| 支 出 | 10億1,225万2千円 |
| 差 引 | 4,964万1千円    |

【資本的収支(税込)】

| 区 分 | R7年度決算額     |
|-----|-------------|
| 収 入 | 7億3,718万2千円 |
| 支 出 | 8億8,008万2千円 |
| 差 引 | -1億4,290万円  |

表③ 主な改良事業

※はR6繰越事業

| 事 業 名 (工 事 名)                | 地 係            | 事 業 費 (工 事 費) |
|------------------------------|----------------|---------------|
| 滝波幹線下水管渠改築工事その1 ※            | 滝 波 町<br>2 丁 目 | 1,801万8千円     |
| 滝波幹線下水管渠改築工事その2 ※            | 滝 波 町<br>2 丁 目 | 1,868万9千円     |
| 勝山浄化センター汚泥受入施設建設工事業務委託 ※     | 松 原            | 4,689万円       |
| 松田第1汚水中継ポンプ所電気設備改築工事         | 荒 土 町<br>松 田   | 1,334万3千円     |
| 雨水排水マンホールポンプ場整備工事            | 昭 和 町<br>2 丁 目 | 1,216万6千円     |
| 勝山浄化センター汚泥受入施設建設工事業務委託       | 松 原            | 3億3,600万円     |
| 勝山浄化センター汚泥受入施設建設工事機械電気設備業務委託 | 松 原            | 1億4,400万円     |

今後も、市民生活を支える重要なライフラインとして、将来にわたり安全で安心なサービスの提供を行うため、水処理施設の計画的な改築・更新に取り組み、社会的情勢の変化などを注視し、更なる経営の効率化を図ってまいります。